



# SUITA ESAKA ROTARY CLUB CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27  
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:saksa-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30  
会長: 渡辺 忠雄 幹事: 西本 健二 会報委員長: 速見 憲

## 2009年12月22日 第934回例会(第933号)

### 本日の例会

今週の歌 「四つのテスト」

卓話 「私の職業」

~会員交流のためのスピーチ~

北村、北山、小谷、米谷、水谷 各会員

### 次回例会のお知らせ(1月12日)

卓話 「年の初めに」

米谷正夫 会員

### 前回【12月15日】例会記録

来客

村上 恭 豊 君(大阪南)

会長の時間 渡辺 会長

皆様、こんにちは。

先週、12日(土)、関西大学ローターアクトクラブの認証状伝達式を終えることができました。会員の皆様には、多数の方々にご出席を頂き、また、大変お世話になりました。有り難うございました。

10月27日の大谷ガバナー公式訪問で卓話をして頂きました。その話の中で、大学RACを提唱するクラブでは全ての会員が、一人残らず、リーダーシップを身に付けて頂きたいと思えます。

リーダーシップとは理論と実践を通じて身に付けた能力と定義されていました。そして、リーダーシップとは: 与えられた状況の中で、目標の達成にメンバーが積極的に取り組み、期待される結果を作り

出席報告 榎谷 委員長

【12月15日】

在籍会員 44名(内出席規定適用免除者 9名)

出席会員 35名(内出席規定適用免除者 5名)

ホームクラブ出席率 87.50%

11月24日のMUを含む出席率 94.74%

出すよう影響を与えることなのです。それがロータリーの中核をなす価値観の一つであるリーダーシップであり人間力(人間としての魅力)です。とお話がありました。

12日の伝達式には、会員の皆様がリーダーシップを発揮され、地区のテーマであります「ロータリーを身に付けよう」が実践できたのではないのでしょうか。

会員の皆様有り難うございました。

幹事報告 西本 幹事

本会は次週が最終となります。年明けは1月12日が最初となります。理事会も1月12日です。例会終了後、友好クラブ委員会を行います。

ニコニコ箱

今村 会員 先日、関西大学RAC認証状伝達式、無事終了、会長始め関係各位ご苦労様でした。

加藤 会員 トントン会では、メンバーにも恵まれ初優勝させて頂きました。1日幸せでした。

西山 会員 例会欠席のお詫びを申し上げます。

田中(弘) 会員 トントン会ではラッキーにも3位入賞させて頂きました。

本日分 16,000円

累計 655,000円

ロータリーとは、他人に対する思いやりと、他人のためにつくすことである。

奉仕活動委員会 金馬 委員長

第2660地区1・2組で構成されるGSE受け入れの打合せが12月11日、ホテル阪急エキスポパークにて開催され、渡辺会長、西本幹事と共に出席してまいりました。

今年度はUSAテキサスチームの受け入れで昨年同様、京都デーの担当を引き当てました。4月7日(水)です、よろしくお祈りします。

会員増強推進委員会 橋本 副委員長

12月22日(火)例会終了後、事務局で月1回の定例委員会を行います。委員会メンバーの方は出席の程、宜しくお祈りいたします。

卓 話

「私の職業」 今村 啓志 会員

私が吹田江坂RCのチャーターメンバーとして入会して以来20年に渡り、私の仕事の大気汚染防止、排気ガス浄化等の事業は一貫して増え続け社員も約80名から現在240名前後になりました。

また本社も江坂から京都の長岡京に移りましたが、私の心はこの事業を創業した江坂の地にあり、今後とも此処で皆様と一緒に奉仕活動をさせていただきます。

地球環境やCO<sub>2</sub>の問題も、当時私の職業として卓話をさせていただきましたが、現在もさらに大きな課題として全世界の人々に問題提起をしています。

また大気に国境はなくロータリーの大きなリングのように地球を包み込んで居り、私の会社の社章もこれをイメージしたものにしています。

従って私の事業の範囲も広がり韓国、台湾、中国、シンガポールに子会社を設立運営し、それぞれの国の人々がわが社の社員として活躍しています。

今後は米国、EU、インドに展開しロータリーのように世界を一つに結びつけるのが私の夢で、これは近い内に実現できることを念じています。

「私の職業」 栢本 淑子 会員

私の職業は、大阪音楽大学と千里金蘭大学で後進の指導をしております。

音大の方は、大学卒業と同時に大学院に在籍しながら助手として残りました。又、オペラ歌手として活躍したいと思い、ドイツに留学し、又、帰国してからは毎年イタリアへ行き勉強して参りました。今大学は少子化と不景気の影響で経営は大変で、教員数もどんどん減って来ていますが、定年まで頑張っ

て勤めて参ります。  
2年前より金蘭の「生涯学習」という授業もや

っておりますが、(40代~80代)1クラス20名で2コマの約束が、今は125名程で4コマに増え大盛況で何よりです。学習生はとても熱心で、こちらも自然と熱が入り、やり甲斐があります。

何と言っても私には喉が一番大事な商売道具ですから冬場は風邪に負けないように、うがいをよくやります。要するに風邪を引かないようにするのも大事な仕事の一つです。

「警備業について」 木元 良三 会員

昭和37年7月7日に日本で初めての専門の警備会社が設立されました。それが日本警備保障㈱で現在のセコムでございます。

発足時は飯田亮代表と戸田寿一氏の2名で警備業務を創めたがその当時は社員による夜警員・守衛又当直などで会社を守る状況にありました。昭和38年に日本警備保障が東京・福岡でツタンカーメン展の会場警備と貴重品警備を担当し週刊誌等に取り上げられました。昭和39年東京オリンピックの会場や選手村等の警備を担当し世間に警備会社の存在を知らしめました。昭和40年に東京オリンピック会場警備運営を取りしきった村井順(警察OB)氏が財界を始め警察庁等の協力と支援により総合警備保障が誕生、これを期に全国に警備会社が広まり平成17年には警備業者数9,266社・警備員数481,794人・売上高35,469億円となり安全産業として認知されましたが平成20年度は経済環境の悪化により警備業者数8,924社・売上高33,413億円と減少、警備員は逆に512,331人増加しておりますがリーマンショック以降は安全産業界も厳しい環境にあります。

その中であって、治安・防犯に関する意識調査の結果では『最近、物騒な世の中になっている』と感じる人が96%にもものぼっており、ニーズにマッチした警備を提供できれば前途に明るさもあります。

安全産業界においても寡占化と淘汰・再編成の時代になりつつあります。今後とも我が社を宜しくお願いします。

本日は卓話の時間を頂き有難うございました。